

報道関係各位

2011年7月20日
三井物産セキュアディレクション株式会社

三井物産セキュアディレクションとフォティーンフォティ技術研究所が、 マルウェア対策セキュリティソリューションの開発とその提供について業務提携 を発表

三井物産セキュアディレクション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:神吉 敏雄 以下「MBSD」)は、株式会社フォティーンフォティ技術研究所(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鶴飼裕司 以下「FFR」)とマルウェア対策セキュリティソリューションの開発とその提供について業務提携したことをお知らせいたします。

昨今、Gumblar や震災マルウェアに代表されるマルウェアの発生件数は、この1年で急速な増加を辿り、更に、悪質化・巧妙化し続けております。また、ゼロデイ攻撃の出現も後を絶たず脅威は拡大化するばかりの状況です。これらの脅威に対し、旧来の既知情報をベースにしたアンチウイルスソフトやセキュリティアプライアンスだけでは防御しきれない状況になっております。

FFR では、これらの脅威に対する製品として「Origma+(オリグマプラス)」や「FFR yarai(ヤライ)シリーズ」を既にリリースしており、パターンファイルに依存しないヒューリスティック検出技術により、未知ウイルス、マルウェア、未知脆弱性に対する防御を実現しております。

MBSD では、本製品を用い、「Web 感染型マルウェア診断サービス」を MBSD セキュリティオペレーションセンターの運用のもと平成23年7月よりサービス提供を開始いたします。

お客様の Web サイト及びそのリンク先において、マルウェアが設置されていないかを1日1回以上診断を行う事で Web 感染型マルウェアや改ざんといった脅威へ対応いたします。

独自シグネチャを追加し検知精度の向上を図るとともに、セキュリティ専門家による安心の運用と対応を提供し、低価格且つ高品質のサービスを実現しております。

今後は、FFR より先般リリースされた「FFR yarai analyzer」を活用した、未知ウイルス、マルウェア、未知脆弱性への検知を実現するソリューションを検討して参ります。MBSD では、xSP 向けのゲートウェイアンチウイルスサービスや IDS/IPS の補助機能としてセキュリティ監視サービスへのオプション提供等を今年度中に推進して行く予定です。

また、マルウェアやゼロデイの脅威に対し、FFR から提供されるセキュリティインシデント情報を有効活用し、脆弱性診断サービスの診断手法への取込みやセキュリティ監視サービスご利用のお客様へカスタムシグネチャの配布等を行って参ります。

MBSD は、本業務提携により、国内最高レベルのマルウェア対策サービスをお客様へ提供して参ります。

■株式会社フォティーンフォティ技術研究所について

フォティーンフォティ技術研究所は、世界トップレベルのセキュリティ・リサーチ・チームを作り、コンピュータ社会の健全な運営に寄与することを目的に、2007年に設立されました。広範なセキュリティコア技術とリサーチ能力のバックグラウンドを軸に、さまざまな確度でお客様のセキュリティリスク管理を強力に支援します。

URL: <http://www.fourteenforty.jp/>

■三井物産セキュアディレクション株式会社について

三井物産セキュアディレクション株式会社は、三井物産の情報セキュリティ専門子会社として2001年に設立されました。「IT リスクマネジメントのリーディング・カンパニー」を目指し、セキュリティコンサルティングやセキュリ

ティ診断、セキュリティ監視などのサービスを通じ、お客さまが安心してビジネスに取り組める環境づくりに貢献しています。

URL: <http://www.mbsd.jp/>

■本プレスリリースに関するお問い合わせ先
三井物産セキュアディレクション株式会社
経営企画部 企画グループ 小野澤／清水
TEL:03-5649-1962
E-mail アドレス : press@mbsd.jp